

会長挨拶 森 義彦

本日は、現代仏教界の第一線で活躍する、公方俊良さんの、満ち足りて生きる「過去はもうなく明日もまだない、この(今)を生きよ」のお話です。



中国禪宗第四祖・道信(580-651)がある時、路上で一人の少年に出会いました。道信和尚が少年に尋ねました。「名は何というのか」「名はありますが、人並みの名ではありません」「ほう。ではどのような名かいつてみよ」「仏という名です」「さて、自分の名を忘れたかな」「名は元元空ですから」という会話でしたが、和尚は驚いて、この少年を弟子にしました。この少年こそ、後の五祖弘忍(ぐにん)なのです。

私達はいつも、自己に囚われ、名に囚われ、そして自分が歩んできた過去に囚われて生きています。ですが、自己の名前や過去への思いや囚われは、自分が上する為のブレーキか重荷になりこそすれ、決してプラスにはならないのです。自己も、名も、過去も、何ら実体はないのに、ただ「ある」と思い込んでいるに過ぎません。弘忍はこの事を「もともと空ですから」と指摘したのです。

「阿含経:あごん」に「筏のたとえ」という教えが示されています。

ある男が旅をしていて、大きな河にさしかかりました。舟も橋もなく、向こう岸に渡ることができずに困った彼は、思案し、苦心したあげく、木の枝などを集めて組み合わせ、筏を作って河に浮かべ、容易に向こう岸へ着くことができたのです。しかし、愚かな男は、筏が便利で重宝なことを知り、「こんな便利なものは常にそばに備えておく必要がある。」と思い、それからずっと、陸地を歩く時にも筏を担いで行ったということです。筏は河に浮かべてこそ役に立つのに、陸地を担いで歩くとは何という愚かな男だろうと、失笑されるかもしれません。しかし、人間はいったん自分に役立ったり、大切であったりしたものは、決して離すまいとして、そのものの本来の機能すら忘れ、余計な背負い込みをするものです。これが執着心です。「子供の頃は勉強がよくできた」「一流大学出身だ」「昔は事業が成功して大金持ちだった」など過去に思いを馳せ、懐かしみ、自慢することも、過去への執着です。裏を返せば、それだけ現在が落ち込んでいる証拠といえます。

人が生きることは、それ自身が進歩であり、前進です。充実した人生を生きる人は、過去にすがりつくことなく、何時も空っぽになる事が出来る人です。

人は、空っぽになる事によって、固定観念や既成概念を打破し、常に新鮮な学びや出会いを得て、新たなる創意や工夫、改善を生めるのです。ここに進歩と向上が生まれます。過去に囚われない生を生きるには、今朝の目覚めを「生」と思い、夜の眠りを「死」と思う。一日一生を積み重ねることです。毎日が決算の人生こそ、生の充実があります。常に自戒すべき事だと思えます。

5月のお誕生日・結婚記念日

誕生日	氏名	結婚記念日	氏名
10日	北郷	6日	山田
14日	江崎	7日	前田
26日	上田	11日	本多
31日	佐藤け		



「菖蒲」 花言葉  
「うれしい知らせ」「優しさ」  
「伝言」「心意気」「優しい心」  
「優雅」「あなたを信じる」



ゲスト

今後の行事予定

6月29日 夜 最終記念例会&懇親会

**6/29(水) 最終記念懇親会**  
18時45分開会 長崎新聞文化ホールアスピア

森体制 Last spurt

古賀体制 On your mark! Get set!!



幹事報告

山口 裕幹事



- ★ライラ成功裏お礼状が届く。
- ★最終例会懇親会出欠アクト回覧。
- ★来週例会終了後定例理事会を行います。



久保田:①誕生日お祝い有難うございます。②先週例会日は、高総体の準決勝で見事に撃沈(泣)しました。もっとロータリーに励み誠心せねばと思いました。頑張りま——す!!

波戸:先週は取り留めない話にお付き合い頂き有難うございました。もっと面白い話を仕込めるよう有意義な人生を送って参ります。

町田:前田さん昨日はお世話になりました。

大原:前田さん社長就任おめでとうでございます。昨日の懇親会にもお世話になり感謝致します。

中野:前田さん社長就任おめでとうでございます。素晴らしい友人を持つ前田社長の今後に光あれ。

浜本:前田さんの今後のご活躍を祈念致します。

松本:昨日の前田さん社長就任記念ゴルフコンパ及び懇親会は大変楽しかったです。(有)共栄の社業の発展と前田さんの今後のご活躍を祈念致します。

山口:①前田さん社長就任おめでとうでございます。②本日“クラブ協議会”宜しくお願い致します。

森羽:①前田さんの祝賀会参加の皆さんお疲れ様でした。②クラブ活性化の建設的な意見を宜しく願います。

前田:昨日は私の社長就任祝賀会及びゴルフコンパが無事終える事が出来ておとしております。森会長始めご出席頂いた方々ご多忙の中 誠に有難うございました。

黒崎:きょうも無事。

丸木覚誠:①古川さん専務取締役への昇格誠におめでとうでございます。②例会終了後 本日民謡同好会練習日です。

◇小計 12名 ¥28,000 ◇累計 704名 ¥1,832,700

クラブ会員出席37名

ご協力者11名 協力率29.73%





会長が概要を話され 皆さんからの意見交換がありました。



## 東日本義援金についての報告 パート I

### 東日本大震災支援の骨組み

#### 1 <設定条件>

(設定条件) 支援するロータリアンのところに直接訴えかける分かりやすいプログラムを

①	5年程度を目安として募金が終わっていることが望ましい(長期にわたる募金は無理が生ずる可能性大)
②	次年度のうちにそれ以降のプログラムが自動的に推進されるよう、システムを確立する必要がある
③	被災地が広域にわたるため「箱物を作って移管」はむずかしい。「箱物を作って末永く管理運営するのはもっと難しい
④	ロータリー第5奉仕部門となった新世代奉仕(ローターアクト、インターアクト、RYLA)に新風を吹き込みきっかけ作りのできるプログラムであることが望ましい

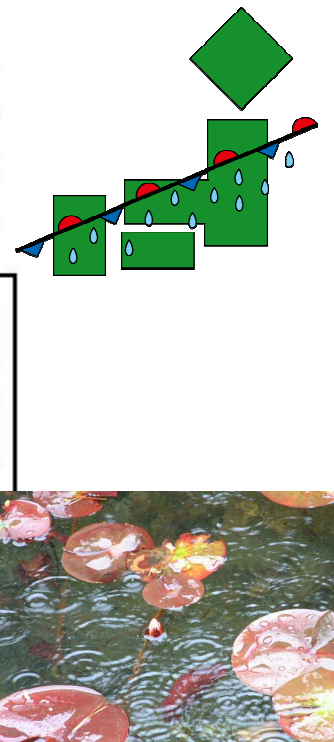
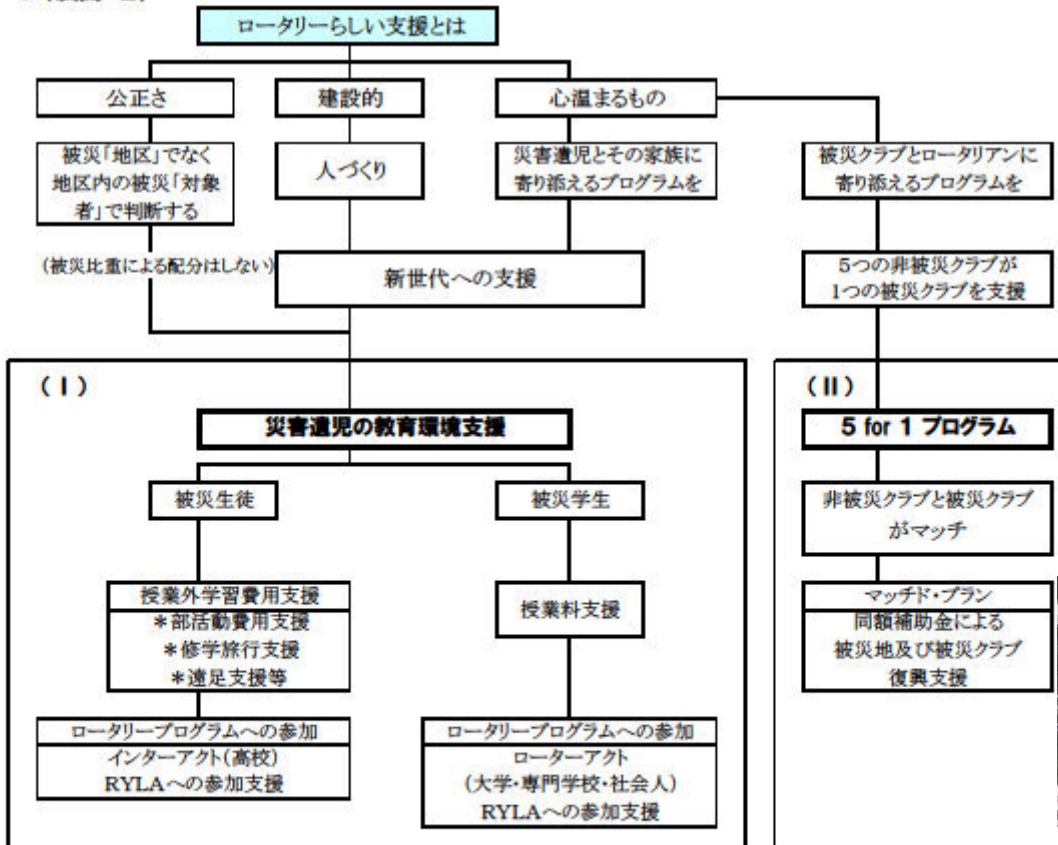
#### 2 <展開 1>

①	災害遭見への教育環境サポートはわかりやすく、被災者のところをとらせる(現況のあしなが育英会+自治体+その他団体サポート)では、青少年に充分な学習環境を作っているとは言いがたい)
②	ロータリーにはスポンサークラブ・カウンセラーという珠玉の制度があり、これを有効に使えば就職相談に至るまで一貫して遭見に寄り添うことが可能
③	インターアクト、ローターアクト、RYLAプログラムに遭見たちを参加させることで、各プログラムを活性化できる
④	被災クラブを非被災クラブが主体的に支えるシステム作りをする

今後 パート2  
以降は例会内  
容紙面上の都  
合により  
おって掲載し  
ていきたいと  
思います。

クラブ会報  
委員会

#### 3 <展開 2>



例会司会  
井手創三郎

**0-9-為替レト**  
**6・7月; 1ドル=¥82**



会報委員 新島美佐子、木藤俊郎、中野哲生  
資料委員 杉澤美保子、上田純一 **カメラ当番**  
編集構成 事務局

	会員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up 免除者	修正出席率 出席率
先々週 (06/01)		<b>休</b>	<b>会</b>		
本日 (06/15)	48	36	11	1	76.6

創立 昭和49年4月30日  
承認 昭和49年5月22日  
例会日 毎週水曜日12:30~13:30  
例会場 長崎新聞文化ホール「アズピア」  
事務局 長崎市目覚町8-11-301  
TEL 843-6635/FAX 845-9411  
URL <http://nerotary.org/>  
E-mail : n-kutorc@sepia.ocn.ne.jp



月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
本年度	88.33	86.67	87.56	83.89	83.69	83.78	85.1	89.61	86.98	81.25	81.25	
前年度	89.53	90.64	87.21	90.54	82.39	84.09	85.80	85.23	91.28	87.60	83.55	88.86